

2017 年度「開発途上国の環境と開発:事例研究」(170G3928) 9月現地調査日程 2017-11-07

教員が SIM フリーのスマートフォンを持参。電話番号は、それぞれの国で SIM を購入することにより得られる。

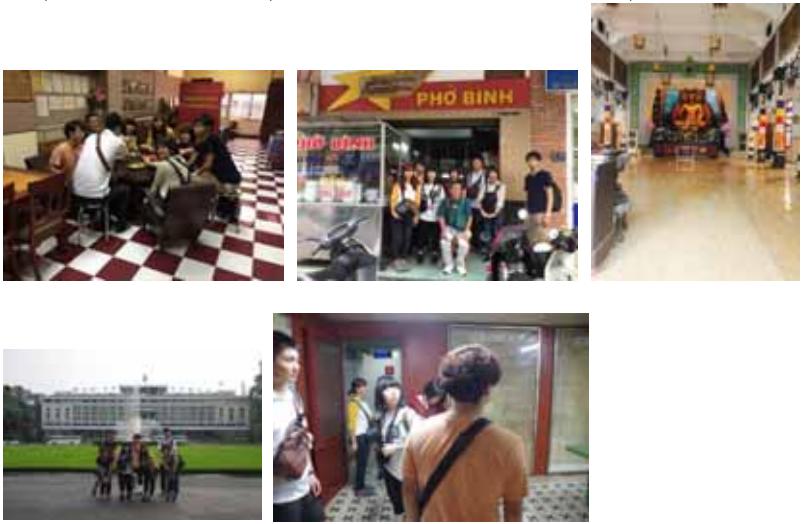
○ 2017 年 2 月 11 日から 6 月 17 日にかけてベトナムの市外局番が全国的に変更になった。

日	経路・活動	交通手段 <sup>1</sup>	宿 <sup>2</sup>
1 9月 7(木)	<p>11:05 新潟空港集合            新潟 13:00 KE764 15:15 仁川 18:20 KE683 21:35 ホーチミン  </p> <p>空港で両替。            宿から手配してもらった車 2 台で宿へ。</p>	<p>大韓航空 新潟・仁川・ホーチミン/ダナン・仁川・新潟(5名)60,330 円            新潟・仁川・ホーチミン/ダナン・仁川・成田(教員を組む 3 名)57,880 円<sup>3+</sup>            成田・新潟 ANA5,940 円</p>	<p>Blue River Hotel,            283/2C Pham Ngu Lao Street,            Dist 1, Ho Chi Minh            blriverhotel@gmail.com            blueriver1126@yahoo.com  <a href="https://blriverhotel.com/">https://blriverhotel.com/</a></p>  <p>Superior twin: 1 泊 1 室 25 ドル、            Standard single: 23 ドル(ドン建てを米ドル表示しているものため為替レートにより変動)(朝食・税込み、エアコン付き、ネット無料)            エレベーター無し。7 月 10 日直接予約済み。ドル払い可。</p>

<sup>1</sup> なるべく公共交通機関を使って、一般の人の生活に触れる。但し、スリ等に注意。

<sup>2</sup> いずれもお湯の出るバスルーム(熱帯地方の一般的な宿にバスタブは無い。)付きで 2 人室の 1 室料金。但し、2 人室は 2 ベッドではなくダブルベッドのことがある。バンコクを除き、家族経営の小さな宿なので、従業員、宿泊者、非宿泊者に目が行き届くため、犯罪リスクが小さく、また、対応も柔軟。但し、バンコクを除き、エレベーターは無い。

<sup>3</sup> 2016 年は、初予定していた大韓航空の料金が大幅に上がったため、6 月 27 日、ベトナム航空を予約・購入した(2016 年に全日空がベトナム航空に出資したため、新潟・成田間の全日空便を含めて航空券を購入できる。)。2017 年は、5 人の航空券購入の翌日に残席が買い占められたため、残り 3 名は成田帰着とせざるを得なくなつた。

2	<p>8(金)宿に預けなければならないパスポートが必要となつたため、SIM カードは購入できず。</p> <p><b>安全対策：</b>通りの渡り方、スリ・ひったくり対策  <b>市民生活を知る：</b>ベンタン市場  <b>南北に分かれていた時代を知る：</b>ベトコンの秘密会議室のあったそばや Pho Bin<sup>4</sup>で昼食、政府の腐敗に抗議して僧侶が焼身自殺をしたサロイ寺(Chua Xa Loi)<sup>5</sup>、旧大統領官邸(統一會堂 Unification Palace)</p>  <p>18:00 Cyclo Resto<sup>6</sup>で夕食(伝統的ベトナム家庭料理を基にした日替わりの創作料理のセットメニュー1種のみ。15万ドン。飲み物別。)メールで直接予約。</p> 	徒歩、タクシー	
---	---	---------	--

<sup>4</sup> 2階の元会議室の見学には1人1万ドンが必要になった。

<sup>5</sup> <http://chuaxaloi.vn/> (ベトナム語)

<sup>6</sup> <http://www.cycloresto.com.vn/>

3	9(土)	<p><b>ホーチミン 9:00 路線バス(公称 6 時間) 17:00 プノンペン</b></p>  <p>国境で SIM カードを購入。</p>	<p>路線バス(Kumho<sup>7</sup>)</p>	<p><b>Europe Guesthouse</b> トンレサップ川まで徒歩数分。経営者は難民としてパリで育つ。 51, rue 136 (Oknha Inn), 12204 Phnom Penh 電話+855 23 691 8883 携帯+855 92 763 078 E-mail: europeguesthouse</p>
---	------	---	--------------------------------	---

---

<sup>7</sup> Kumho を予定していたわけではなかったが、9 時発でまだ 8 人分が空いていたのは同社であった。

4	<p>10(日) カンボジアについて知る： トンレサップ河畔、国立博物館<sup>9</sup>、王宮(服装規程あり:膝が隠れていること、袖があって肩(腕の最上部を含む。)が出ていないこと。<sup>10)</sup></p> <p>市民生活を知る： 市場(Phsar Thmei), Sorya Shopping Center, イオンモール<sup>11</sup></p> 	徒歩、トゥクトゥク	<p>@gmail.com  <a href="http://europeguesthousepp.com/">http://europeguesthousepp.com/</a></p>  <p>街中の典型的な町屋風の建物のため、通りに面した部屋と裏側の部屋にのみ窓がある。</p> <p>朝食無し。エアコン付き、窓付きツイン 22 ドル、窓無し 18 ドルなど<sup>8</sup>。町屋のような構造のため、窓無しの部屋が多い。エレベーター無し。7月10日直接予約済み。</p>
---	--	-----------	---

<sup>9</sup> 2016年は、雷雨等のため時間不足で、国立博物館には行けなかった。他方、新潟大学全員に、この日の昼食のフォーが原因と思われる食中毒が発生。



<sup>11</sup> イオンモールは当初予定していなかったが、時間に余裕があるので、さびれたソリヤショッピングセンターとの対比のために訪れた。

<sup>8</sup> Standard double or twin 2 Beds Deluxe A/C with windows at \$22, Standard single A/C with windows at \$20, Standard double twin 2 beds A/C without windows at \$18, Standard single(single Bed for 1 only)A/C without windows at \$15。窓付き、窓無しの部屋の配分は当日の予約状況による(全員の希望をかなえられない場合、経営者は、長期滞在客には窓付き、短期滞在客には窓無しを配分。)。

5	11(月)	<p>9:00-12:00 大虐殺等を行ったポルポト派幹部の裁判を行っているカンボジア特別法廷訪問<sup>12</sup> <a href="http://www.eccc.gov.kh/en">http://www.eccc.gov.kh/en</a> (服装規程あり: ビーチウェア風のもの、半ズボン、サンダル不可。)</p>   <p>午後：虐殺現場(Choeung Ek キリングフィールド) (片道 15 キロ、約 45 分) 入場料 6 ドル(自動音声案内機付き)<sup>13</sup>  <a href="http://www.cekillingfield.org/index.php/en/">http://www.cekillingfield.org/index.php/en/</a>  <a href="http://www.killingfieldsmuseum.com/s21-victims.html">http://www.killingfieldsmuseum.com/s21-victims.html</a></p> 	ワゴン車 <sup>14</sup>	
---	-------	--	--------------------	--

<sup>12</sup> 2014 年と 2016 年に説明して下さったのは Mr. Pheaktra Neth, ECCC Press Officer <http://www.eccc.gov.kh/en/persons/mr-neth-pheaktra> 2013 年は、前田優子広報官による説明 30 分、ビデオ 10 分、廷内見学 15 分に加えて、藤原広人共同捜査判事部分析ユニット長(Office of the Co-Investigating Judges)による具体的な課題についての説明も頂けた。2016 年は、公判が開かれていたため、カメラ等の持ち込みができなかつたが、初めて公判を傍聴できた。これまででは、説明と法廷見学を合わせて所要 1 時間半から 2 時間であったが、2017 年度は、担当部署からの追加の説明の申し出があったため、所要 3 時間になった。もっとも、空港を過ぎたあたりから深刻な渋滞となり、45 分程度遅刻した。もっとも、裁判所職員も同じ渋滞に巻き込まれ、到着が大幅に遅れたとのことであった。2017 年の担当： Hayat Abu-Saleh (Ms.), Public Information Officer/Spokesperson, United Nations Assistance to the Khmer Rouge Trials (UNAKRT), Extraordinary Chambers in the Courts of Cambodia (ECCC); Mobile: +855 (0) 12 488 936 /Landline: +855 (0) 23 860 191, Fax: +855 (0) 23 861 555; UN: 165-6491 Ext: 6491; email: abusaleh@un.org

<sup>13</sup> [http://tokuhain.arukikata.co.jp/phnom\\_penh/2012/10/post\\_7.html](http://tokuhain.arukikata.co.jp/phnom_penh/2012/10/post_7.html)

<sup>14</sup> <http://www.khj-group.com/> 外国語のできないカンボジア人運転手 66 ドル

6	12(火)	<p>午前：<sup>15</sup></p> <p>拷問と虐殺の行われていたトゥール・スレン旧政治犯収容所(Tuol Sleng Museum : Security Prison 21: S-21) 入場料 6 ドル(音声案内機付き)  <a href="http://www.tuolslenggenocidemuseum.com/">http://www.tuolslenggenocidemuseum.com/</a>  <a href="http://www.killingfieldsmuseum.com/s21-victims.html">http://www.killingfieldsmuseum.com/s21-victims.html</a></p>  <p>14:30-16:00 JICA カンボジア事務所: 業務説明会参加<sup>16</sup></p> 	トウクトウク	
---	-------	---	--------	--

<sup>15</sup> 当初は JVC 「農業・農村開発に関する資料・情報センター」の訪問も予定していたが、移転準備で閉鎖中のためとりやめ。

<sup>16</sup> JICA カンボジア事務所は、訪問者が非常に多いため、各グループへの個別対応はせず、火曜と木曜の 14:30-16:00 に業務説明等を行う。2013 年は、加えて、16:00-16:30 に、トゥールスレン虐殺博物館で沖縄県が実施していた地域提案型草の根技術協力のフェーズ 1「沖縄・カンボジア「平和博物館」協力」(2009 年 10 月 1 日から 2012 年 3 月 21 日) のビデオを見せて頂けた。説明は毎回他グループと合同で行われ、2017 年は、琉球大学及び日本赤十字看護大学と合同であった。

7	13(水)	<p>プノンペン 8:45 バス(314 km、公称 6.5 時間、15 ドル)<sup>17</sup> 14:30<sup>18</sup>シリムア ップ 宿のトウクトウクによる出迎えあり(乗るバスの情報を事前に宿に伝えておく必要がある。)。</p> 	<p>路線バス(Mekong Express) 12 ドル</p>	<p><b>Bou Savy Guesthouse</b> #261 Group 17 Khum Svay Dangkum, Siem Reap 電話+855 12 898 627 携帯+855 97 4842919 Services @bousavyguesthouse.com; savy7777@hotmail.com <a href="http://www.bousavyguesthouse.com/">http://www.bousavyguesthouse.com/</a></p>
---	-------	---	-----------------------------------	--

<sup>17</sup> 国境で SIM カードの立ち売りによりカンボジアの SIM カードを購入。

<sup>18</sup> バスは定刻よりもかなり早く到着した。

8	14(木)	<p>9:00 -10:30 上智大学アジア人材養成研究センター<sup>19</sup>          どうしたら現地の人のためになるのかを考えさせられる 日本人が修復してしまうのではなく、自ら修復できるカンボジア人材を育てる。<sup>20</sup></p>  <p>午後: アンコールワット、タ・プロム、バプオン、バヨン見学<sup>21</sup> 3日券(不連続可) 62米ドル<sup>22</sup> アンコールワット等は聖地なので服装規定あり。<sup>23</sup></p>  <p>左上は、参道を修復したカンボジア人たちを紹介する参道脇の上智大学の看板。しかし、強風で壊れてしまい、未修復とのこと。</p>	宿のトウクトゥク <sup>24</sup>	 <p>エアコン付き、バスルーム付き、朝食込み。早期割引(2割)で、ツイン 16 ドル x4 泊=64 ドル、トリブル 20 ドル x4 泊=80 ドル、シングル 16 ドル x4 泊=64 ドル(7月10日直接予約済み)。エレベーター無し。2014年プール新設。</p>
---	-------	---	------------------------	---

<sup>19</sup> <http://dept.sophia.ac.jp/is/angkor/>

<sup>20</sup> 「アンコール・ワット遺跡保存修復は、カンボジア人の手でなされるべき」との信念に基づき、同遺跡を守るカンボジア人専門家の人才培养に尽力したこと」などが評価されて、所長の石澤良昭教授が2017年度の「ラモン・マグサイサイ賞」を授与されることになった。

([http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/news/2017/7/globalnews\\_2395/0727press](http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/news/2017/7/globalnews_2395/0727press))毎回説明下さるのは三輪悟現地所長。

<sup>21</sup> 2013年、14年とも、夕方にバコン村 Little Angeles 孤児院(内野中学校のビデオレター交換関連訪問)を検討していたが、遅くなつたため断念。

<sup>22</sup> 40ドルだったものが2017年2月に大幅に上がってしまった。

<sup>23</sup>



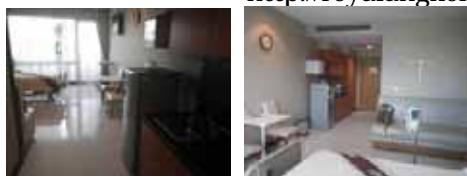
<sup>24</sup> 2016年度は、他大学と合同実施で、人数が多くなったので、宿のトウクトゥクではなく旅行会社手配のワゴン車になった。以下同じ。

9	15(金)	<p>シェムリアップ 07:30<sup>25</sup> 車(60km、1.5 時間) Kampong Kdei JVC(日本国際ボランティアセンター)による生態系に配慮した農業によるシェムリアップ県での家族経営農家の生計改善(CLEAN)プロジェクト訪問<sup>26 27</sup></p>	ワゴン車 <sup>28</sup>	
---	-------	---	--------------------	--

<sup>25</sup> 7:00 出発予定であったものを 30 分繰り下げる。

<sup>26</sup> 2016 年は、学校が休みのため、環境教育プロジェクトの訪問は取りやめ。雨の多かった 2014 年は、森林内に水がたまっている箇所があった(マリンシューズが役立った。)。2017 年は、水の溜まっている森林に入ることを断念。今年の担当はピーさん。

<sup>27</sup> 2016 年は、しかし、体調不良の新潟大学の学生たちは Royal Angkor International Hospital に行き、検査と診断の後、1 泊して点滴を受け、11 万円ほど取られる。但し、シェムリアップで唯一この病院の請求書は直接旅行保険会社に行くため、本人負担は無し。他の医療機関の場合、一旦自分で支払い、後に旅行会社に請求することになる。<http://royalangkorhospital.com/>



<sup>28</sup> 宿に依頼して手配。120 ドル。

10	16(土)	<p>一ノ瀬泰造<sup>29</sup>の墓、地雷博物館、遺跡見学</p>  <p>ディナーショー(ダンスは 19 時開始。宿を通じて予約。)<sup>30</sup></p>	宿のトウクトゥク	
11	17(日)	<p>シエムリアップ 8:00 バス(153km、2.5-4 時間)<sup>31</sup> ポイペト Poipet カンボジア出国手続き後、徒歩数百メートルでタイの入国手続き。<sup>32</sup></p>  <p>国境タイ側 Rong Kluea Market 発 13:00 路線バス no. 9916<sup>33</sup> 約 250 キロ。公称 4 時間半 18:30 パンコク(エカマイ・バスターミナル)の予定であったが、これまでの乗車券売り場は締まっており、その前の乗車場所にバスは現れず<sup>34</sup>。代替措置として、カジノ客を主たる対象に運ぶツアーバス(200 バーツ)を利用。「バンナー」とされた降車場所がバンナー駅から遠かったため、タクシー3台でホテルへ。</p>	バス乗り継ぎ	<p><b>At Mind Executive Suites</b> 8 Sukhumvit Soi 85 Bangchak, Prakanon Bangkok 10260 電話 +66(2)311 4444 Fax: + 66(2)332 9838 <a href="mailto:info@atmindsukhumvit.com">info@atmindsukhumvit.com</a> <a href="http://www.atmindsukhumvit.com/">http://www.atmindsukhumvit.com/</a></p> <p>屋上にごく小さなプールあり。 政治集会等のあり得る市中心部から離れたところ。<sup>35</sup> 朝食付き 1 室税込み 1,350 バーツ (4,586.4 円) 7 月 14 日直接予約・支払い済み</p>

<sup>29</sup> インドシナ戦争取材中の 1973 年に消息を絶った写真家。1982 年になって、探していた両親が、1973 年 11 月にこの場所でポルポト派に殺害されていたことを突き止め、遺骨を発掘。

<sup>30</sup> <http://www.amazon-angkor.com/> 2016 年は、共同実施の国際情報大学一行の帰国便の出発時間が早いため、到着日に行った。

<sup>31</sup> 2014 年は、宿にピックアップに来たワゴン車がそのまま国境まで行くことになった。しかし、途中で故障し、代替車が来るまで 1 時間待つことになった。

<sup>32</sup> タイでは米ドルが通用しないので両替。2016 年は、タイの ID が無いと買えなくなったとして、タイの SIM カードを購入できず。カンボジアの SIM で海外ローミング。2017 年は、タイ入国の混雑により時間に余裕が無かったため、SIM カード購入、タイ通貨購入も断念。前年の残りでの不足分をパンコクで翌朝購入。

<sup>33</sup> 時刻: <http://www.airaran.co.th/bus-schedule/?lang=en> 国境を挟んでカンボジア側のバスとタイ側のワゴン車を一体にした安い切符を旅行会社が売っているが、タイ側の運転が荒っぽい(ネット上にも多くの書き込みあり。)ので利用しない。また、直通バスもあるが、高く、かつ、行き先が我々の宿には行きにくいパンコク北

12	18(月)	<p>10:30 国連環境計画アジア・太平洋地域事務所訪問(JPO で environment and health 担当のもとき・まさとさんから、もときさんを事例に、国連で働くことの実際についてのお話。また、民間で働いたもときさんの経験から、民間国内企業、民間国際企業、国際機関で働くことの違いのお話も。)<sup>36</sup></p>  <p>11:30 国連ビル内のカフェテリアで昼食。もときさんのほかに 3 名が参加。</p>  	タクシー、スカイトレイン	<p><b>車中泊</b>  <b>23 特急寝台列車 エアコン付き 2 等寝台 下段 821 パーツ、上段 731 パーツ、プラス 1 人 30 パーツの予約手数料(ANS40 型車両、2016 年 11 月導入の中国製新型車両。垂れ流しでない航空機型トイレ等<sup>38</sup></b>      7 月 20 日、タイ国鉄ウェブサイトから購入済み。10 号車 13-20 番。予約手数料込上段 761 パーツ x3.3912=2,580 円、下段 851 パーツ x3.3912=2,885 円)      (2016 年の冷房は猛烈に効いてはいなかったが、一般に、冷房対策としてフリース等の上下の衣類が必要とされる。)</p>
----	-------	--	--------------	--

部の Mo Chit バスターミナルなので利用しない。2011 年、14 年にこのバスに乗った時には 18 時頃エカマイに到着。次のところにはエカマイ着 17:20 とあった：  
<http://www.rottourthai.com/archive/index.php/t-18414.html> このバスは、オンヌット駅の脇を通り、そこで降りた人たちがいた。我々もそこで降ろしてもらえばよかった。2016 年は、タイの入国管理事務所がカジノ帰りの人たちで著しく混雑していたため、13 時のエカマイ行きに乗れず、14:15 のモチット(北部バスターミナル)行きになった。モチット・バスターミナル タクシー サパンクワイ スカイトレイン オンヌット 徒歩 ホテル。2017 年も入国管理事務所が混雑していたが、バスの出発場所がわかれれば乗れた。

<sup>34</sup> 11 月に会社に照会して、国境からまっすぐ 900 メートル進んだ左側に移転していたことが判明。

<sup>35</sup> 当面の政治的混乱が懸念される予定として、8 月 25 日のインラック元首相(赤シャツグループ=新興勢力グループ)の在任中の職務怠慢裁判の判決。結果は有罪。

<sup>36</sup> 2016 年は、イスラム教関係の休日で訪問できず。しかし、体調不良の教員が病院に行ったため、学生も病院に同行。<https://www.bumrungrad.com/japanese> 2013 年には発熱した学生を連れて行き、それ以前にも教員が行ったことがたったが、この時初めて日本人医師だった：

<https://www.bumrungrad.com/doctors/Kae-Hyakutake> <http://www.newsclip.be/article/2012/10/12/15508.html>

<sup>37</sup> 10 月に前国王の葬儀がそこで行われるため、見学できない可能性があると見ていた。2017 年、腹具合の回復しない学生 1 名は、午後から Bumrungrad 病院に行き、夕食後にホテルで落ち合う。

<sup>38</sup> <http://www.seat61.com/Thailand.htm> の情報。また、<http://www.bangkokpost.com/learning/advanced/1036446/modern-trains-bangkok-chiang-mai-next-month>。タイ国鉄のウェブ直接販売は、これまでに 2 回停止され、2017 年 2 月から再開。1 につき手数料 30 パーツが必要。再び停止されると、旅行社から購入することとなり、切符 1 枚毎に旅行社手数料 150 パーツ(<http://www.thailandtrainticket.com/>)+配達料 100 パーツ+カード手数料 3.5%が加算される。

		<p>バンコク中央駅でシャワー(お湯は出ない。)<sup>39</sup>          バンコク 20:30 - 23 特急新型寝台列車(エアコン付き 2 等寝台) (575 キロ) <sup>40</sup></p> 	<p>タイ国鉄新型夜行列車寝台 2 等エアコン付き</p>	
13	19(火)	<p>23 特急列車 6:35 ウボンラチャタニ</p>  <p>(車内の冷房が強かったため、下車するとカメラのレンズが曇った。そのため、デジカメで撮影。)</p>		<p><b>Leena Guesthouse<sup>41</sup></b>          Choakeem Road          Khaisonephomvihane District          Savannakhet Province          Phone: +856 41 212404          20 9927 4994; 20 5564 0697          leenaguesthouse@hotmail.com          Runkeem@yahoo.com  <a href="http://leenaguesthouse.blogspot.jp/">http://leenaguesthouse.blogspot.jp/</a></p>  <p>エアコン、お湯のシャワー、テレビ付。朝食別 1 室 10 万 kip(約 1,400 円)。7 月 25 日、メールで直接予約済み。</p>

<sup>39</sup> 2016 年は時間不足のため浴びることができなかった。2017 年はシャワーが回収されていたが、既に 1 基が、壊れて使えない状態になっていた。

<sup>40</sup> 2016 年まで使用した 67 急行列車は、昨年までよりも出発が 1 時間遅くなり、到着は 25 分遅くなった。特急列車はこれまで無かったもの。67 急行列車は、2013 年は、出発時刻の 20:30 になっても列車は入線せず、漸く 20:50 に入線。しかし、発車は漸く 21:50。

<sup>41</sup> 2013 年までの宿(Sala Savanh。無線 LAN 無料。計 5 室。元タイ領事館。広いが古い。)は、収容力不足のため、2014 年から収容力の十分なこちらに変更。

	<p><b>Ubon Ratchathani 7:30 – 167 km – 10:35Mukdahan (昼食)<sup>42</sup></b> ウボンラチャタニーバスセンターで朝食の予定であったが、バスが直ちに出るとのことだったため、直ちに乗車し、ムクダハンのバスターミナル脇の食堂で朝食兼昼食。</p> 	路線バス	
	<p><b>ムクダハン 11:30–バス(第二メコン河大橋)-12:30 ワナケート(Savannakhet)<sup>43</sup></b> SIM カードを購入。銀行で両替。</p>  <p>メコン河畔の夕暮れ</p>	<p>路線バス 7:30 から 17:30 まで 1 時間毎に運行。その後 19:00 に 1 便。</p>	

<sup>42</sup> 2013 年は、9:30 のバスを予定していたが、列車の大幅な遅れのため、次の次のバスとなる。Ubon Ratchathani (バスの待ち時間に昼食) 13:30 167 km 15:35Mukdahan このバスは、トイレ付きで、2 時間余りで到着。ムクダハンのメコン河畔への往復は断念。ムクダハン・バスターミナルに両替できるところは無く、手数料を約 500 円も取る ATM が 1 台だけあった。2016 年は、ウボンラチャタニ発は当初予定の 9:30 発の 1 本前になったが、ムクダハン到着は 11:35 だった。

<sup>43</sup> 2013 年は、ラオス側入国際、入国カード記入のために時間がかかった我々を置いてバス(タイのバスとラオスのバスがあるうち、我々の便はラオスのバス)は行ってしまった。入国管理事務所職員の手助けにより、バンで宿に向かった。バンは 400 バーツだったが、宿がわからず、余計に走った運転手は少し余計に欲しいと言い、500 バーツを払った。2016 年は、ムクダハンの町まで行かなかつたため、ムクダハン発 12:30 のバスに乗ってしまった。

14	20(水)	<p>午前 バスターミナルで 22 日のフエ行きバスの切符を購入。その際、途中から乗ることを伝える。</p>  <p>14:00-15:30 サワナケート県病院に青年海外協力隊員(看護師)を訪問<sup>44</sup></p>  <p>16:00-17:30 JVC 事務所でプロジェクト等の説明を受ける。</p>  <p>雷雨のため、レストラン(夕食を 18 時開始予定)への出発を後らせる。</p> <p>18:30- メコン河畔の Lao Derm Savan (+856 41 252 142)で JVC ラオス代表夫妻他日本人スタッフ、青年海外協力隊員と夕食。</p> 	徒歩、トゥクトゥク等	
----	-------	---	------------	--

<sup>44</sup> 2013 年は、青年海外協力隊員(数学教育)を Oudomvilay Secondary School に訪問。2014 年は、15:00-16:30 頃に青年海外協力隊員(陸上競技)を県陸上競技場に訪問(約 30 分間説明、準備の後の 16 時からの練習を見学。同じ敷地内のバレーボールも見学させて頂けた。) 2016 年は、9:30-11:30 にセノ(SENO)の町にあるウートンポン郡病院に青年海外協力隊員(助産師)を訪問。2017 年は、非常に大きな病院のため、協力隊員のいるところに到達するのに時間がかかった。

15	21(木)	<p>8:00<sup>45</sup> (165 キロ、3 時間) ピン(Phin または Phine) JVC の「森林保全と持続的な農業の推進」プロジェクト見学。<sup>46</sup></p>  <p>JVC の皆さんとの夕食</p>	四輪駆動車をチャーター	<p>ピンの Sysomephone Hotel +856-41-21486、 +856-20-22312603、 +856-20-9852-2888。<sup>47</sup></p>  <p>JVC にお願いして予約。 エアコン、バスルーム、wifi 付き (前回は無かった。)。 1 室(2 人)12 万キップ、1 室(1 人)10 万切符。</p>
----	-------	--	-------------	---

<sup>45</sup> 2013 年は、宿の人たちの寝坊により、出発が 1 時間遅れた。

<sup>46</sup> 2013 年は、森林保全部分を訪問の予定であったが、途中の川の増水のため、四輪駆動車でも渉ることができなかつたので、別の村で政府が海外の企業に森林をゴム園にしている問題、伝統的な焼き畑等を見学。

<sup>47</sup> 2016 年は Tang Kham Guesthouse (セタムアク(ピンの西))。エアコン、お湯の出るバスルーム(シャワー)、朝食無し。ネット無し。020-23344442, 96615353。)013 年はセタムアクの Vongpasouk Guesthouse。

16	22(金)	<p>ピン 12:00 バス (76 キロ、2 時間)<sup>48</sup> Dansavanh で降車 (徒歩 5 分)  Lao Bao でラオス出国手続きとベトナム入国手続き<sup>49</sup> バス(80 キロ、2 時間)<sup>50</sup>  Dong Ha(トイレ休憩) バス(72 キロ、1 時間半) – 17:40<sup>51</sup> フエ南部バスター  ミナル<sup>52</sup> ホテル</p>  <p>夕食は安くコース料理が食べられる Hanh 食堂(地元客多数に外国人も混じる。)<sup>53</sup></p> 	<p>サワナケート 8:00 発フ 工行(11 万キップ)に途中 から乗る。所要時間が従 来より伸びた。</p>	<p>Amigo Hotel<sup>54</sup>  66/3 D Le Loi, Hué, Viet Nam  Phone: +84 234 3838 006  Fax: +84 234 3838 005  amigohotelvn@gmail.com</p>  <p>エアコン、朝食付き。ツイン 1 室 20 ドル、シングル 18 ドル。7 月 31 日に直接予約。</p>
----	-------	--	--	--

<sup>48</sup> 国境手前で乗り込む両替商からラオス通貨でベトナム通貨を購入するとともに、ベトナムの SIM カードを購入。ホーチミンの店舗と異なり、パスポート等は不要。

<sup>49</sup> バスは、ラオス側の Dansavanh で乗客を降ろした後、先にベトナム側の Lao Bao に行って待っている。2014 年まで、ラオスの出国に賄賂がまかり通っていたが、我々は拒否。2016 年、ベトナム側のブースにラオス出国とベトナム入国の窓口が並び、前回までのようラオス出国の賄賂と混乱がなかった。出国から 30 日以内に再度ベトナムに入国する際にはビザが必要になったため、ここに入国時にビザを使用。

<sup>50</sup> 2014 年は、途中でエアコンが故障し、窓の開かないバスでどうなることかと思ったが、運転手と助手が修理することができた。

<sup>51</sup> 2016 年は、それ以前に比べて、サワナケート出発が 1 時間早かった上、ラオス内の道路の改良(舗装の上乗せ)が進み、途中での休憩が無くなり、更にドンハ・フエ間の道路改修がほぼ終了したため、セタムアク出発が 1 時間 45 分早まり、フエ到着が従来よりも 3 時間早まった。**トイレ休憩が無くなってしまったので、ラオスの出入国管理事務所の横にある建物のトイレに立ち寄ることが必須となった。**しかし、2017 年はドンハで 5 分間のトイレ休憩があった。

<sup>52</sup> 2014 年は、宿に電話して 7 人乗りタクシーを手配してもらった。しかし、タクシー台数不足のため同じ車が往復した。2013 年は、フエのバスターミナルからのタクシーは、メーターを使えば約 5 万ドンのところ、他にタクシーがなく、荷物も多いため、足元を見られて 1 台 15 万ドン(2 台)を取られた。2016 年は、予約客のあったビナサンタクシーが同社の別のタクシーを呼んでくれた。信頼できる会社であり、何も言わなくてもメーターで走ってくれた。2017 年は宿の人が迎えに来て、かつ、宿の負担でタクシー 2 台を手配してくれた。

<sup>53</sup> [https://www.tripadvisor.jp/Restaurant\\_Review-g293926-d3809346-Reviews-Hanh\\_Restaurant-Hue\\_Thua\\_Thien\\_Hue\\_Province.html](https://www.tripadvisor.jp/Restaurant_Review-g293926-d3809346-Reviews-Hanh_Restaurant-Hue_Thua_Thien_Hue_Province.html)

<sup>54</sup> 2016 年は、宿に直接連絡がつかないため Hotels.com から 1 室 1 泊 1,563 円+税 243 円=1,806 円で予約していた Phuong Hoang Hotel が、行ってみると改装工事で休業中だった。オーナーが同じという Amigo Hotel に変更。朝食付きツイン 25 ドル、シングル 20 ドル。<http://amigohotelhue.com/> amigohotelvn@gmail.com 今年も Phuong Hoang Hotel は連絡がつかないため Amigo Hotel にした。室料は 1 室 1 泊 2 ドル割り引いてくれた。

17	23(土)	フエ市内見学(ベトナムの王朝・世界遺産を見る: 王宮、市場等)	徒步		
18	24(日)	8:30 南北分断時代を見る: La Vang Church、Quang Tri の城塞都市跡、Mine Action Visitor Center <sup>55</sup> , Vinh Moc の地下トンネル、旧南北ベトナム国境(Ben Hai 川)見学	ワゴン車 <sup>57</sup>	 最後の夕食はこれまで通り Y Thao Garden <sup>56</sup>	 (フエの王宮の服装の注意表示)

<sup>55</sup> <http://www.landmines.org.vn>。 土日は休みだが、2016年、運転手の事前依頼により、無人ながらドアを開けておいてくれた。入館料の設定は無いが、寄付箱があり、「寄付して欲しい。」とある。

<sup>56</sup> 3 Thach Han, Hue 21:30まで 024-3-523-018 [ythaogarden@gmail.com](mailto:ythaogarden@gmail.com) <https://www.vietnamonline.com/restaurant/hue/y-thao-garden.html>  
<http://4travel.jp/travelogue/10880092>

<sup>57</sup> 2013年と2014年は、宿手配の車が高かったため、Annam Tour (Mr. Van Ngoc Vu。Mobile: 0905 140 600 [www.annamtour.com](http://www.annamtour.com) Email: [info@annamtour.com](mailto:info@annamtour.com)

19	25(月) (敬老 の日)	<p>午前 休養。</p> <p>昼食はフエ名物の 1 つのコム・ヘン(しじみごはん)</p>  <p>宿 13:00 ワゴン車(ラン・コ・ラグーン、ハイ・ヴァン峠等に立ち寄り) 18:40 ダナン空港<sup>58</sup></p>   <p>ダナン 22:50 KE464</p>	ワゴン車	
20	26(火)	<p>KE464 5:20 仁川(無料シャワー等)</p> <p>(学生 5 人)</p> <p>仁川 10:05 KE764 12:00 新潟</p> <p>(学生 2 人と教員)</p> <p>仁川 10:10 KE703 12:30 成田 17:40 NH3239 18:45 新潟</p> 		

or annamtour@gmail.com。159B Quoc Lo 9 street, Dong Ha city, Quang Tri)に依頼。2014 年は、大学で観光学を学んで卒業したばかりというガイド(25 ドル)をつけたが、彼は知識や案内方法に関し不十分であった(本学の引率教員のほうが知識あり。)。また、ダナン空港への車の運転が荒っぽかった。2016 年は宿に依頼。この運転手は知識もあり、かつ安かった。2017 年度も宿を通じて手配。

<sup>58</sup> 2014 年は、途中 Lang Co Beach で夕食の予定であったが、激しい雷雨の中の下車もためらわれたため、空港に直行し、そこでかなり割高な夕食を取ることとなった。早めに出てダナン市内で夕食でもよいだろう。列車は安く景色も良く、安全性も高いが、本数が限られる。有力候補は： フエ 11:25 SE17 列車 14:52 ダナン。エアコン付き 1 等座席 59,000+1,000(insurance) ドン(約 300 円)。1 等寝台下段 95,000 ドン。SE1(フエ 8:56 11:26 ダナン)でホイアンに往復という選択肢もあり。2017 年度は宿を通じて空港までのワゴン車を予約。但し、空港に向かう前に夕食との指示が届いていず、我々は空港で夕食をとることとなった。